

### 1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者	建設部 総合開発課長	
施策名	にぎわい創出に向けた再開発の推進		成果	コスト			
事務事業名	ガーデンふ頭再開発の推進				連絡先	052-654-7971	
目的	対象(誰・何を)	ガーデンふ頭		事業期間	平成22年度～	連携課	
	意図(どういふ状態にしたいか)	みんなが楽しめる賑わい空間の形成、ゆったりと過ごせるくつろぎ空間の形成を目指します。					
概要	「ガーデンふ頭再開発基本計画」に位置付けられている「にぎわいの創出」と「くつろぎの場の提供」の実現のため、名古屋港水族館の集客力強化や緑地・広場の機能向上などについて、民間事業者への意見聴取を行うとともに、国や港湾関係者との合意形成を図りながら、再開発の基本的な内容を具体化し、再開発の実現に向け取り組みます。					根拠法令等	
令和元年度の実施予定	既存施設の利活用や開発エリアの確保などの再開発の基本的な内容の具体化に取り組みます。					実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
						関連シート	

### 2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	名古屋港水族館との連携や既存施設の利活用の検討、港湾業務機能の移転に向けた港湾関係者との調整、国有港湾施設の取得に向けた国との調整など、基本的な内容の具体化に取り組みました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	合計	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	9,850	24,732	19,624	54,206	平成22年度以降:289,341千円
人件費	千円	34,463	34,571	34,403	103,437	
合計	千円	44,313	59,303	54,027	157,643	

### 3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因	
ガーデンふ頭再開発の進捗状況(全3工程) (進行管理型)	目標	1	1	1	3	以下の項目のうち完了した工程数 ①基本計画の策定 ②基本的な内容の具体化 ③事業者選定・事業化		
	実績	1	1	1				
	事業進捗状況(元年度)			順調	やや遅れ・遅れ			
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	目標					基本的な内容の具体化に向け、関係者との合意形成に向けた調整や各種検討に取り組みました。		
	実績							
	事業進捗状況(元年度)			順調	やや遅れ・遅れ			
必要性・有効性・効率性の検証	評価に関する説明							
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	<input type="radio"/>	港のにぎわいの創出に向け、ガーデンふ頭は親しまれる港づくりの拠点として再開発を推進していく必要がある。また、県民・市民からのニーズも高く、再開発を実施していく必要があります。					
有効性	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>						
	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	<input type="radio"/>	ガーデンふ頭を再開発することによって、魅力ある港湾空間を形成できると考えています。					
効率性	期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>						
	最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/>	最小のコストで事務を行いました。					

### 4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	港のにぎわいの創出に向け、ふれあい・交流拠点であるガーデンふ頭において再開発を推進し、集客力強化や機能向上などを図る必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			2年度以降の取組
再開発の推進に際しては、新型コロナウイルス感染症の影響を注視していく必要があります。また、関係者との調整や民間事業者との意見交換を重ねながら検討していく必要があります。			新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済情勢やにぎわいの回復状況等を見極めつつ、関係者との調整や民間事業者への意見交換を行いながら、再開発の方向性を再整理し、具体化に向けて取り組みます。